

愛知県では、中国江蘇省との経済連携協定に基づき、江蘇省に進出している県内企業支援のため、「愛知県江蘇省サポートデスク」を運営しています。

私共、上海納克名南企業管理諮詢有限公司が愛知県から業務委託を受け、2023年度の運営業務を担っております。

進出企業の皆様の関心があると思われる内容につき、今年度12回目となるメールマガジンを配信させていただきます。

最後までお読みいただければ幸いです。

---

愛知県江蘇省サポートデスク メールマガジン 2023 vol.12

「3月22日 意見交換会 開催報告」

---

3月22日、愛知県進出企業の皆様を対象に意見交換会を実施しましたので、報告させていただきます。意見交換会は、今年度に入り、4回目の開催となります。

また、今回は、Microsoft Teamsを活用し、会場参加とweb参加「ハイブリッド型」にて開催し、web参加2名、会場参加11名の方の参加を頂きました

意見交換会は第一部が講師を招いてのセミナーと、第二部が参加企業の皆様による意見交換会の2部構成として進めさせていただきました。

今回のセミナーは、上海納克名南企業管理諮詢有限公司 董事長 小島成樹より「2024 中国経済について」というテーマにて、講演させていただきました。少子化、国際情勢、世界経済、中国経済、中国自動車市場を中心に説明させて頂きました。

講義の中で、メインはタイトルどおり、中国経済の状況について取り上げましたが、「中国経済が底を打ったと感じる理由」という説明がありました。財政出動、不動産バブル崩壊の底が見えてきた、工作機械の受注統計が底打ち、買い替え促進等をその判断根拠として挙げさせていただきました。まだまだ各種統計数値は弱含みとなっている部分もございますが、今期中にも底打ち感が出てくることを、実感できることを期待したいと思っています。

後半の意見交換会では、1月1日に発表された最低賃金の引上げについて、話が及びました。最低賃金の引上げは、製造業のワーカーの給与設定に影響するものですが、今回の参加者の方が非製造業の方が多かったことや、参加されている製造業の方ではすでに最低賃金を上回る給与設定だったことから、直接的にはあまり大きな影響はなかったように見受けられました。一方で、新規採用の際にはどのくらいの募集給与であれば、採用できるのか、という面は関心の高いところかと思っておりますので、引き続き、この辺りについては、サポートデスクとしての情報収集や、意見交換会での話題として取り上げていけたらと思っております。

おります。

---

3月末で今年度の愛知県江蘇省 SD の活動は終了となります。本年も SD の運営につき、皆様のご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

また4月1日より、早速令和6年度の愛知県江蘇省 SD の活動がスタートします。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。中国での事業展開につき、何かありましたら、お気軽にご相談くださいませ。